



Mother Lake
Goals



滋賀県 総合環境職 採用ガイド

令和8年(2026年4月)

はじめに

今日の環境政策が、従来の公害規制行政を中心としたものから、環境負荷管理、温暖化対策、生物多様性や循環経済などといった多様な領域にまたがる持続可能社会の基盤政策へと移り変わる中、環境政策全般に関する知見を有し、総合力を持った人材を確保・育成していく必要があります。

そのため、これまで本県環境行政の中心を担ってきた「**化学**」職および「**環境行政**」職を**発展的に統合**し、環境施策を通じて滋賀県の持続可能社会づくりを担う職種として設置したのが「**総合環境**」職です。

滋賀県職員の志(パーパス)

- 琵琶湖とくらしを守る。
- 三方よしで笑顔を広げる。
- 豊かな未来をともにつくる。



「志」をひとつに、一緒に働きましょう！！

目次

1. 滋賀県庁の組織
2. 総合環境職の主な配属先
3. 各所属における主な業務
 - ① 環境政策課
 - ② 琵琶湖保全再生課
 - ③ 循環社会推進課
 - ④ 生物多様性保全課
 - ⑤ THEシガパーク推進課
 - ⑥ CO₂ネットゼロ推進課
 - ⑦ 環境事務所
 - ⑧ 琵琶湖環境科学研究センター
4. 総合環境職の姿
5. 総合環境職の採用試験
6. 職員A(環境行政職:入庁4年目)の例



1. 滋賀県庁の組織

知事公室

県の魅力発信・広報、防災対策・危機管理など

総合企画部

NP0活動の支援、ICT政策の推進、**CO₂ネットゼロ社会の推進**など

総務部

職員の福利厚生、県有財産の管理、公営競技事業など

観光文化 スポーツ部

観光振興、文化芸術振興、文化財の保存と活用、スポーツ振興など

琵琶湖 環境部

琵琶湖の総合保全、公害対策、廃棄物対策、生物多様性、林業整備など

健康医療 福祉部

保健・衛生、医療・薬事、高齢者・障害者福祉など

子ども 若者部

私学振興、子育て支援、家庭支援など

商工観光 労働部

中小企業の活性化等、企業立地推進、女性の活躍推進など

農政水産部

環境こだわり農業の推進、県産農畜水産物のブランド力向上など

県土整備部

道路の整備・管理、河川改修や流域治水の推進など

交通 まちづくり部

公共交通の振興、公共施設整備、**自然公園の管理・魅力向上**など

会計管理局

公金の出納・保管、会計事務の審査・指導、決算の調製など

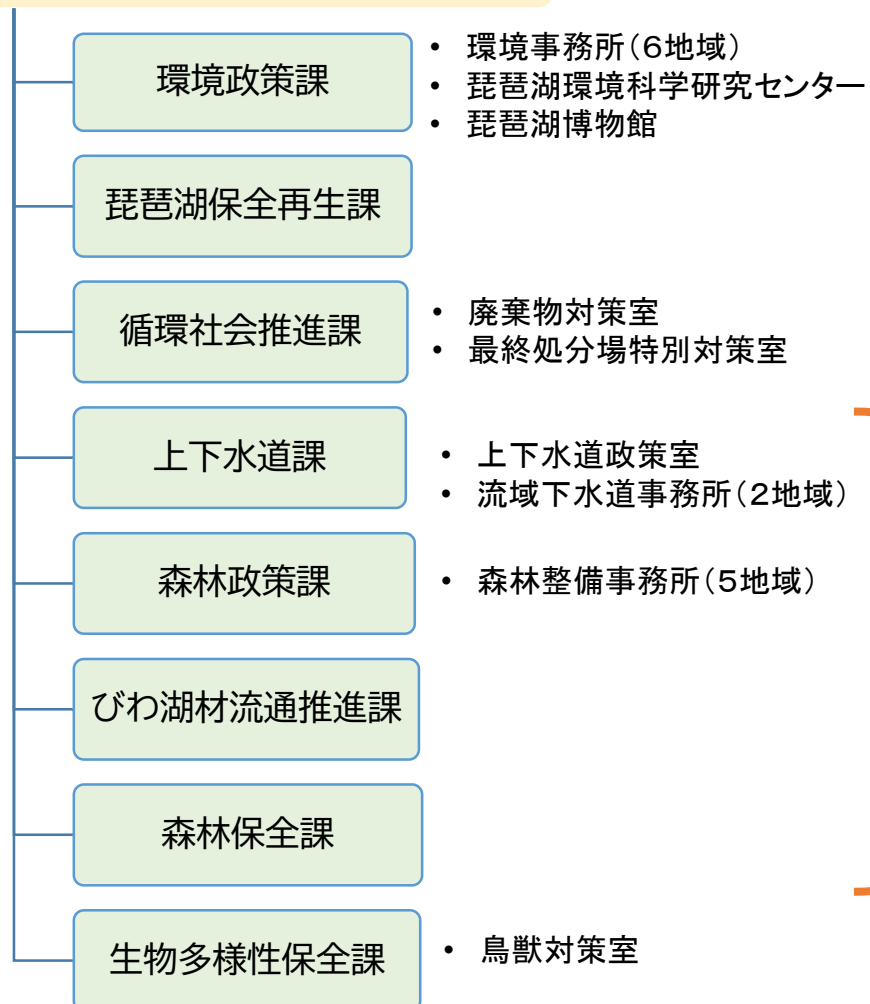
※このほか、教育委員会などの行政委員会や企業庁、病院事業庁といった機関があります。

※総合環境職をはじめ、化学、環境行政、林業の職員は、主に琵琶湖環境部を中心に配属されます。

1. 滋賀県庁の組織

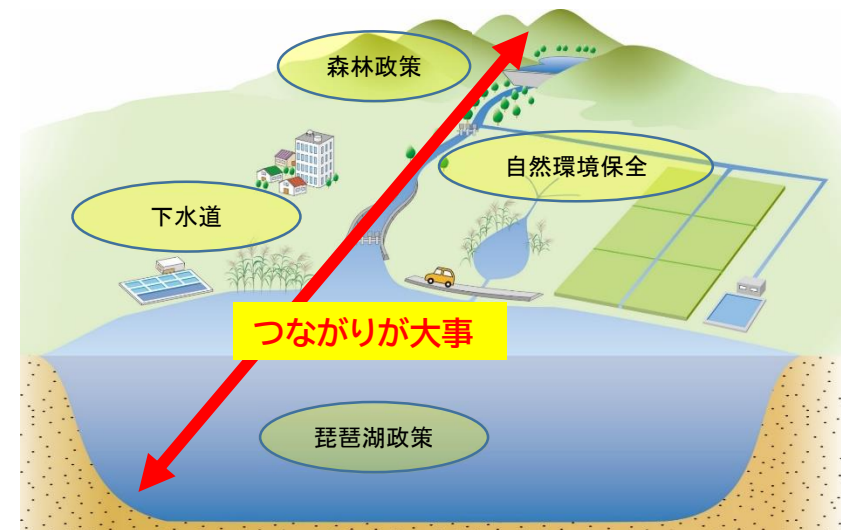
(琵琶湖環境部)

琵琶湖環境部



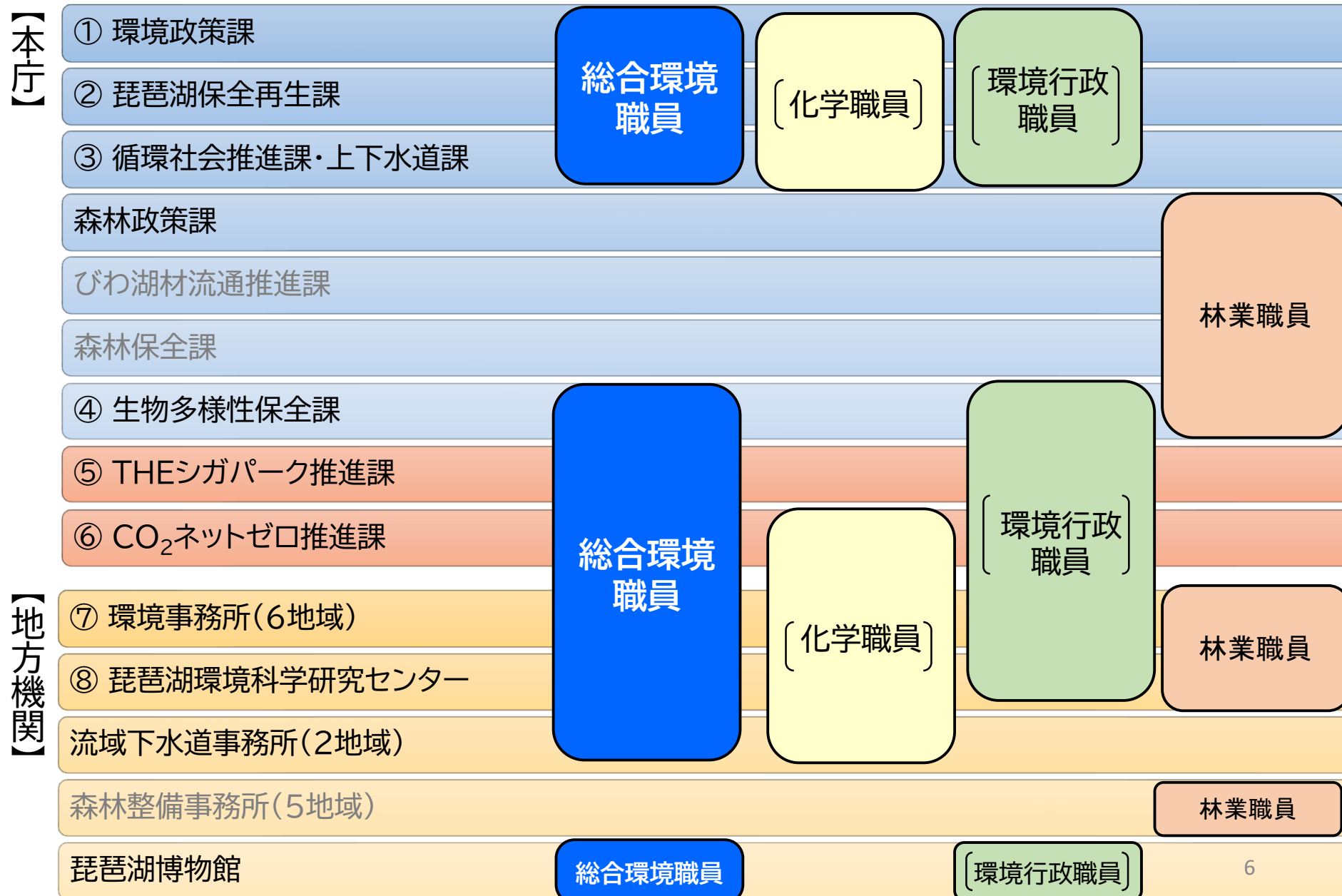
滋賀県の組織の特徴

山(森林)から湖までを一体的に
施策を検討・推進！！



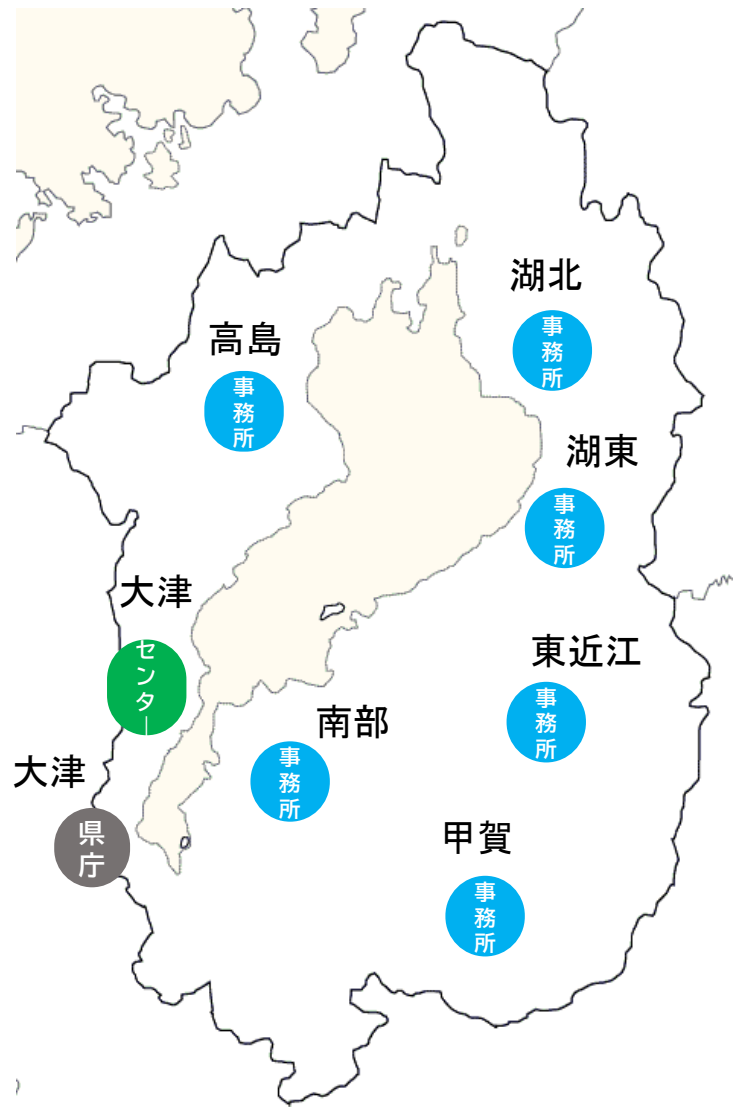
他の都道府県や国では・・・
下水道事業 → 土木部局
森林事業 → 農林水産部局

2. 総合環境職の主な配属先



2. 総合環境職の主な配属先

●総合環境職の主な配属先



本庁

総合企画部

CO₂ネットゼロ推進課

琵琶湖環境部

環境政策課

琵琶湖保全再生課

循環社会推進課

上下水道課

生物多様性保全課

交通まちづくり部

THEシガパーク推進課

など

地方機関

環境事務所

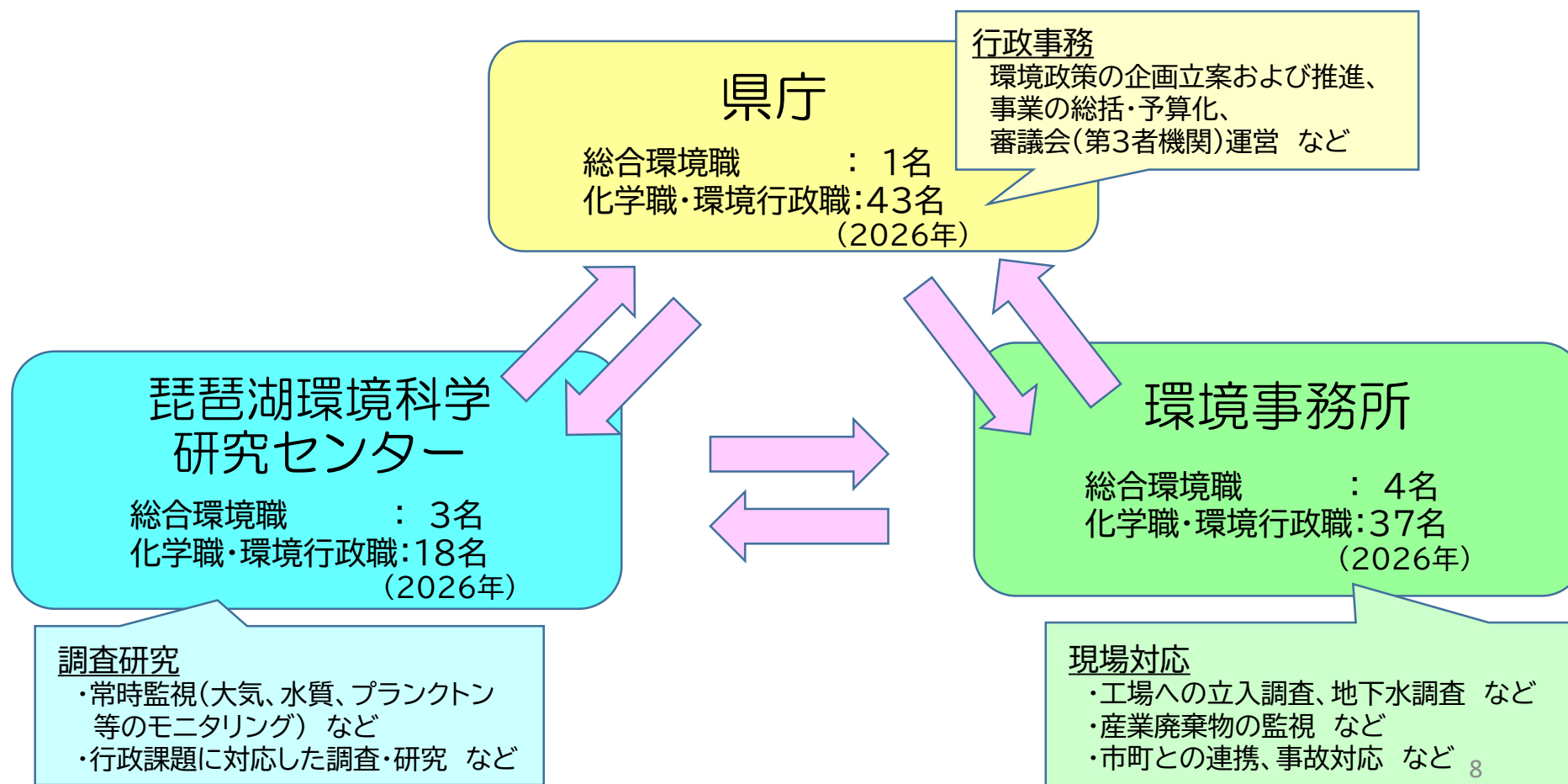
琵琶湖環境科学研究センター

など

2. 総合環境職の主な配属先

●総合環境職の主な配属先と仕事の概要:

- ・ 3～5年のサイクルで本人の希望等により、人事異動が行われます。
- ・ 人材育成の視点から、県庁と地方機関（環境事務所、琵琶湖環境科学研究中心等）の両方を経験するケースが多くなると想定されます。



3. 各所属における主な業務

① -1 環境政策課

- 環境政策全体の立案や総括、琵琶湖環境研究の推進、環境学習の推進、びわ湖の日（びわ活）の発信、環境法令に基づく規制業務の総括を実施

滋賀県の環境政策の総括

滋賀県の環境行政の基本計画である「第五次滋賀県環境総合計画」の進行管理と、その進捗状況も含めた滋賀県の環境の現状を「滋賀の環境」として毎年まとめ、発行しています。



「びわ湖の日」や「びわ活」の発信

毎年「びわ湖の日」の発信や、びわ湖に関する活動「びわ活」のPRをしています。

びわ湖の日
PR動画 ⇒



①-2 環境政策課 環境管理係

- 水質、大気、土壌、地下水などの公害発生の未然防止（各環境事務所等における規制業務の総括）や環境影響評価制度（アセスメント）の運用などの業務を実施

◆大気環境の常時監視を実施



大気自動測定局の内部

◆環境アセスメント制度

大規模な開発の際、事業者が環境への影響を調べ、自主的な環境配慮の検討を求める手続



◆環境アセスメントの現地視察



② -1 琵琶湖保全再生課

- ・ 琵琶湖の水質や生態系の保全再生に向けた業務を実施

◆琵琶湖版SDGs 『マザーレイクゴールズ（MLGs）』 の推進



「世界湖沼の日」の推進

- ・ 令和6年12月に、国連において、国際デー「世界湖沼の日（8月27日）」が制定されました。
- ・ 制定を契機として、水や琵琶湖をはじめとする湖沼の重要性を国内外に一層発信していきます。



8月27日は、滋賀県が主催した第1回世界湖沼会議（1984年）の開会日に由来しています。

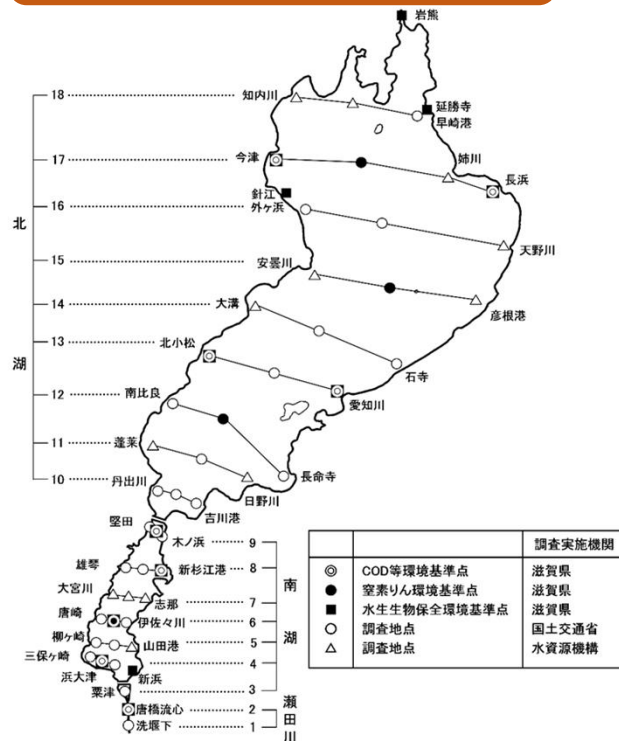
② - 2. 琵琶湖保全再生課 水質・生態系係

● 主な業務

- 水質汚濁防止法に基づく公共用水域（琵琶湖・流入河川）の常時監視
- 内湖の再生

内湖の再生

琵琶湖水質調査地点図



早崎内湖の再生



西の湖の水質改善対策

③-1 循環社会推進課

- ・廃棄物や不法投棄対策、ごみの減量化、再資源化の取組などの業務を実施

◆3 Rの推進

◆県下一斉清掃



しがプラスチックチャレンジプロジェクト
湖神挑一

◆県庁フードドライブ



すぐできる!! 食の見直し

よし!! フードエコ



〈三方よし!!でフードエコ・プロジェクト〉ってなに?

滋賀県では、近江商人たちが昔から大切にしていた、売りよし・買いよし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに、〈食品ロス〉を減らす〈三方よし!!でフードエコ・プロジェクト〉に取り組んでいます。ちょっとした心がけで、売りよし・買いよし・世間よし!とすべてが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



ふっしーくん プロフィール
滋賀県生まれ、近江米100%の(三角おにぎり)の妖精。県内の食品ロスを減らすために、〈家庭〉・〈飲食店〉、そして〈小売店〉を日夜、奔走している。口ぐせは、食べ物の無駄をなくしたときに発する掛け声、「よし!!」。

三方よし!!で
フードエコ
プロジェクト

滋賀県 食品ロス 検索

滋賀県買い物ごみ食品ロス削減推進協議会

③ - 2 循環社会推進課 廃棄物対策室

- 日々、排出される産業廃棄物によって私たちの生活環境が悪化することのないよう、産業廃棄物処理施設等の許認可審査や現場指導などの業務を実施



◆未然予防のため：許認可審査



◆適正処理を維持するため：立入指導



◆不適正改善のため：不法投棄の防止や改善指導

④ 生物多様性保全課

●生物多様性の保全・活用、 希少種保護、外来種対策、巨樹巨木の森など



●鳥獣の保護・管理、獣害対策の担い手育成など



●琵琶湖での水草の刈り取り・有効利用検討など



⑤ THEシガパーク推進課

●自然公園の管理、生態系回復、魅力向上など



⑥ CO₂ネットゼロ推進課



- ・2050年CO₂ネットゼロ社会の実現を目指し、気候変動対策を推進

成安造形大学の学生
が考案したロゴマーク

2050年CO₂ネットゼロを達成した滋賀県の姿
地域の特性に応じた脱炭素化によって環境・経済・社会の健全な循環を構築

家庭向け省エネ診断
(うちエコ診断)



事業所向け省エネ診断や
補助金などの支援



次世代自動車の普及
【写真：日産リーフ（県公用車）】

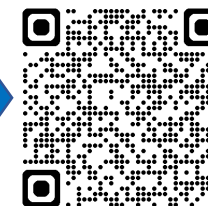


水素エネルギーの利用促進



⑦ 環境事務所

紹介動画も
チェック!



- ・水質保全、大気汚染防止、土壌汚染対策に関する業務
- ・産業廃棄物処理業の指導、許認可に関する業務、自然公園法に関する業務 等

◆環境事務所の業務の一例



煙道排ガス調査



工場排水調査



ダイオキシン類に係る土壌調査

◆環境事務所の地域性を活かした取組事例



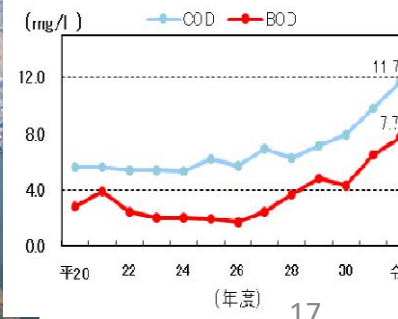
＜企業と連携した水質事故防止訓練(南部・甲賀)＞



＜最大の内湖・西の湖水質調査(東近江)＞: 写真 琵琶湖ハンドブック三訂版

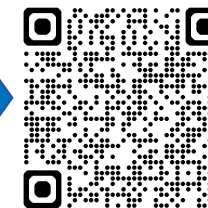


◆西の湖BOD・COD 経年



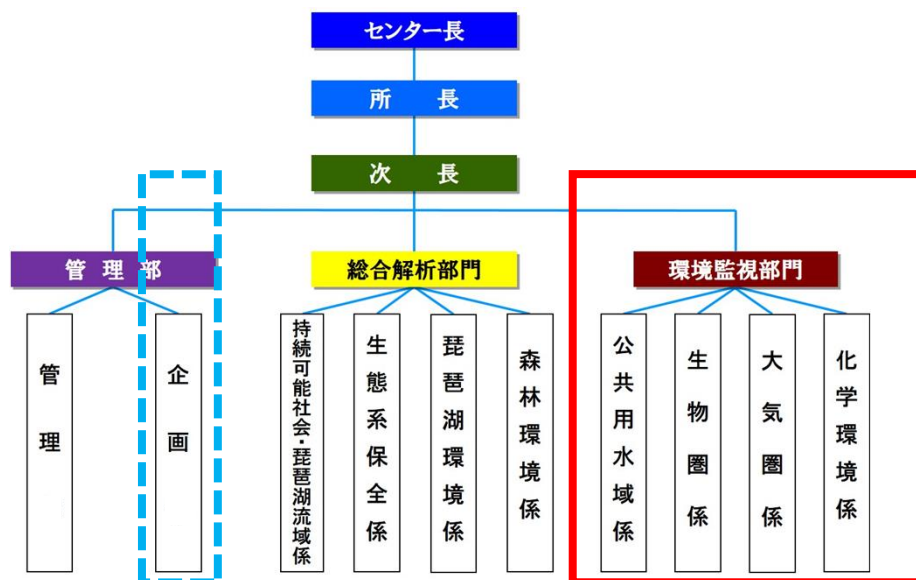
⑧ 琵琶湖環境科学研究センター

紹介動画も
チェック!



- ・ 大気、水質等の環境モニタリングの実施
- ・ 琵琶湖と流域の環境（河川、大気、森林等）の調査研究の実施

◆センターの組織図



◆水質調査船 「びわかぜ」



◆採水・採泥の様子



⑦ 琵琶湖環境科学研究センター（環境監視部門）

◆公共用水域係◆



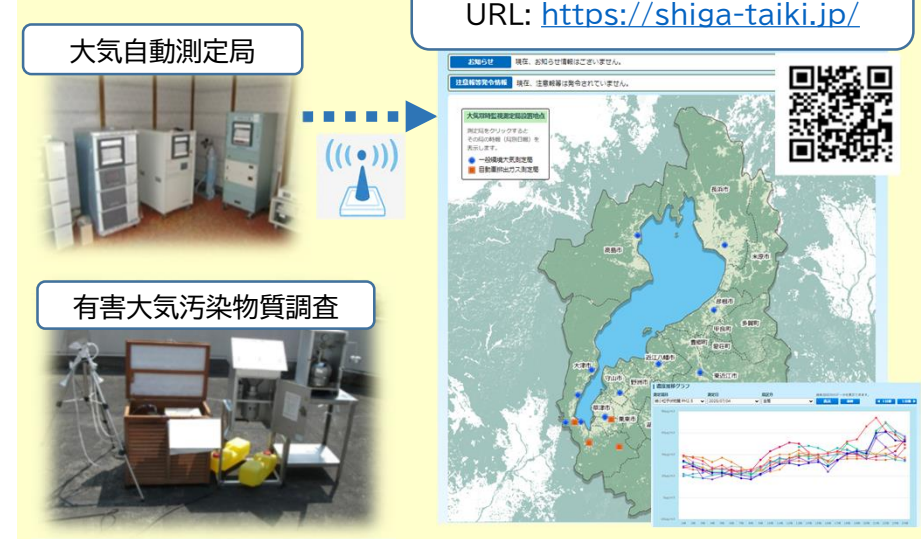
◆生物圏係◆



◆化学環境係◆



◆大気圏係◆



4. 総合環境職の姿

【総合環境職は、こんな就活生に向いてます】

- ✓ 環境に関係する様々な部署に配属されるので、環境や自然に興味がある人にふさわしい職場です。
- ✓ 環境や自然の保全に熱心な住民や団体との連携も多いので、仲間とともに働く仕事を楽しめる人に向いてます。
- ✓ 新たな課題や困難な課題に対し、その都度学び考え、提案することを期待されていますので、就職後の自発的な学びができる方なら大学時代の専攻、理系文系に関係なく適性があります。

[出身学部（学科）実績]

工学系学部（化学系、生物系、環境系、エネルギー系）

理学系学部（化学系、生物系、物理系、地球科学系）

環境系学部（環境管理系、環境政策系）

農学系学部（化学系、生命科学系、森林系）

分野横断型学部、経済学部、教育学部、医学部、薬学部

4. 総合環境職の姿

【求められる人物像】

滋賀県の持続可能な社会づくりにおいて、

- ①直面する課題への解決方法の検討や新たな課題の発見・整理をするために調査解析し、
- ②社会の新しい仕組みについて企画・構築を進め、
- ③より良い環境への施策・事業を実際に行い、
- ④中心になって県民等の環境保全活動を支える人物

【求められる能力】

- ・ 科学的情報を理解し、事象を深く理解する力
- ・ 広く関心を持ち自ら探り、柔軟に発想し提案する力
- ・ 様々な意見を素直に受け止め、自らの考えを伝える力
- ・ 環境問題に粘り強く取り組む力
- ・ 環境政策を楽しめる力

4. 総合環境職の姿

【人材育成】

- ・採用後は各種研修のほか、先輩職員からの支援の下、OJTを行います。

勤務先ごとのOJTで得られる力

県庁各課（企画力・情報収集力）、
環境事務所（技術知見活用力・交渉力）、
琵琶湖環境科学研究センター（調査力・解析力）、
省庁への派遣（国視点での課題把握力）など

[業務タイプ別、力を発揮するイメージ]

- 企画：企画力等を活かし、**自分の思いを込めて**新たな計画・制度・事業を作り上げることができる。
- 指導：交渉力等を活かした違反行為の是正や改善により、事業者とともに目指すべき現場づくりを**実感を得ながら**進めることができる。
- 調査：調査研究**チームを支える一員として**、科学的視点からいち早く課題を発見し、解決に向けた道筋を示すことができる。
- 啓発：培った総合的な力を発揮して、様々な立場の方とコミュニケーションをとり、**思いを共有**してもらうことができる。

5. 総合環境職の採用試験

◆6月に実施していた試験を**早期化し、春(4月)に実施！**

○これまで6月に実施していた技術系職種(総合環境職含む)の大学卒業程度試験を春(4月)に早期化します。(6月の大卒程度試験は廃止)

○春試験の受験資格年齢は、22歳～30歳です

※年齢は試験実施翌年度4月1日時点

◆**教養・専門試験、集団討論、論文試験を廃止します！**

○技術系職種の大学卒業程度試験において、教養試験・専門試験・集団討論・論文試験を廃止します！

○教養試験の廃止に伴い、**SPI**による試験を実施します。

○専門試験の廃止に伴い、大学卒業程度試験では、第2次試験で専門分野の研究や業務経験等を記載する「**専門性確認シート**」に基づいた**個別面接**を実施します。

○さらに、従来の6月大卒程度試験で実施していた1次口述試験も廃止します。

※具体的な内容は、「滋賀県職員採用ポータルサイト」に掲載される受験案内をご確認ください。

5. 総合環境職の採用試験

<春試験の試験科目>

- 第1次試験：能力検査SPI
- 第2次試験：人物についての個別面接、専門性確認シートに基づく個別面接、性格検査(第1次試験合格者のみ判定)

※参考(令和8年度採用試験での専門分野・得意分野)

【専門性確認シートで問う 専門分野・得意分野】

※以下の分野などから応募者が選択

環境計画・環境政策、環境教育・市民活動、環境経済、
環境管理・公害防止、廃棄物管理・リサイクル、
水処理技術・上下水道管理、生物多様性保全・鳥獣保護管理、
気候変動・地球温暖化対策、
再生可能エネルギー・エネルギー管理、
環境調査研究、分析・解析・測定

※内容は変更になる場合があります。

6－①. 職員A（環境行政職：入庁4年目）の例

なぜ滋賀県（環境行政職）を選んだか

国

- 国全体に関わる環境の仕事ができる
- 異動の範囲が広い

滋賀県

- 滋賀県というエリアで仕事ができ、琵琶湖などに関わることができる

市町村

- 琵琶湖などの環境を扱うには管轄が狭いかも



“滋賀県（環境行政職）”が
自分のやりたい分野にマッチ

6－②. 職員A（環境行政職：入庁4年目）の例

とある日のスケジュール

● 8:30

登庁

● 8:35

朝礼

係内で1日のスケジュールを確認します。

● 8:40

メール確認

● 9:00

資料作成・確認

打ち合わせなどに必要な資料を作成します。
また他の人が作成した資料に間違いがないか確認します。

● 10:30

会議参加

● 12:00

昼休み

執務室でお弁当を食べたり、友人と食べに出かけたりしています。

● 13:00

打ち合わせ

係内や課内で業務の方向性などを話し合います。

● 14:00

資料作成・確認

● 17:15

業務終了



6－③. 職員A（環境行政職：入庁4年目）の例

実際、働いてみて感じたこと

- 学んだ専門分野とは違うが、新しいことを学べるのは楽しい
- 2～5年で異動になるので、希望する所属に異動できるチャンスがある
- 同じ職種（化学・環境行政職）での交流があるため、他部署の知り合いが多くなり、仕事がやりやすい
- 色々失敗もありましたが、案外なんとかなる



化学・環境行政職の
若手職員でのご飯会